

平成20年度アマノリ養殖概況

加藤慎治

育苗は例年どおり10月下旬から開始された。育苗期間中は栄養塩レベル低く、一部芽落ち被害がみられたものの、ほぼ順調な入庫となった。

海水温の降下は平年並みで、本養殖は11月下旬から開始された。生産は順調で12月の共販枚数は、不作だった昨年と比べ158%の数量であった。また、漁期を通じて適度な降雨に恵まれたため、低栄養塩による色落ち被害はあまりみられず、漁期終盤まで順調な生産となった。

図1に平成20年度、19年度の月別徳島県漁連共販枚数を、図2に年度別共販枚数と平均単価の推移を示した。顕著な色落ち被害もなく順調な生産となったため、漁期全体の共販枚数は昨年度比110%となった。また、平均単価は昨年とほぼ同じ水準であった。

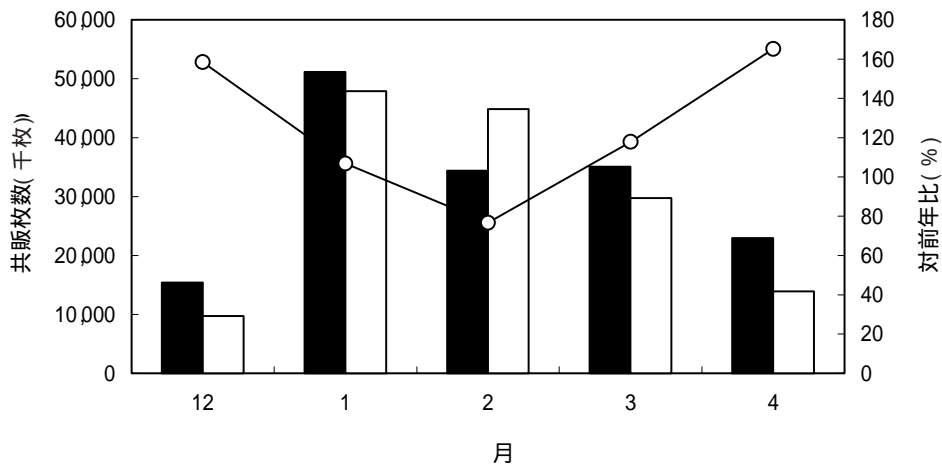


図1 月別共販枚数の推移。 ，平成20年度； ，平成19年度； ，対前年比

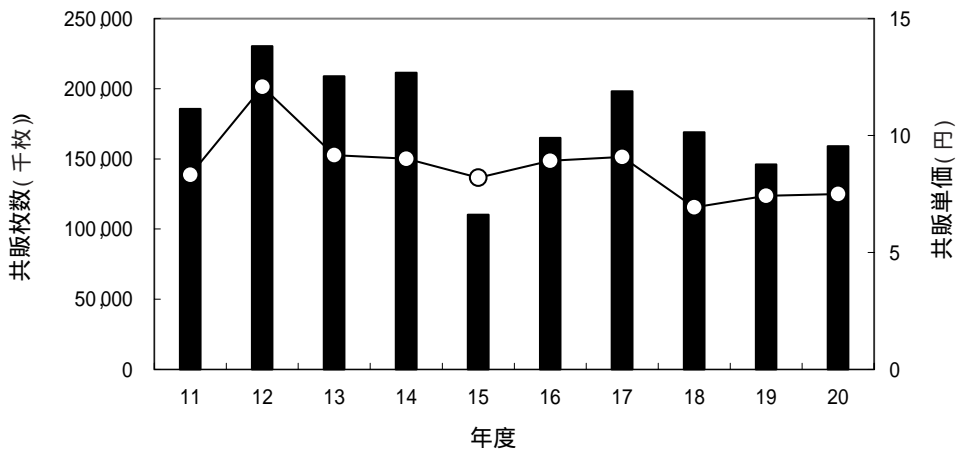


図2 年度別共販枚数と平均単価の推移。 ，共販枚数； ，共販単価